

交野市の特性

交野市の現況、強み・弱み

令和3年12月3日（金）

第2回交野市基本構想審議会

交野市の特性

1. 交野市の現況（統計情報）

- ・ 人口動態
- ・ 暮らし
- ・ 子ども、福祉
- ・ 産業、観光
- ・ 行政運営

2. 交野市の強み・弱み

「交野市の現況」 「都市間比較」 からみえるもの

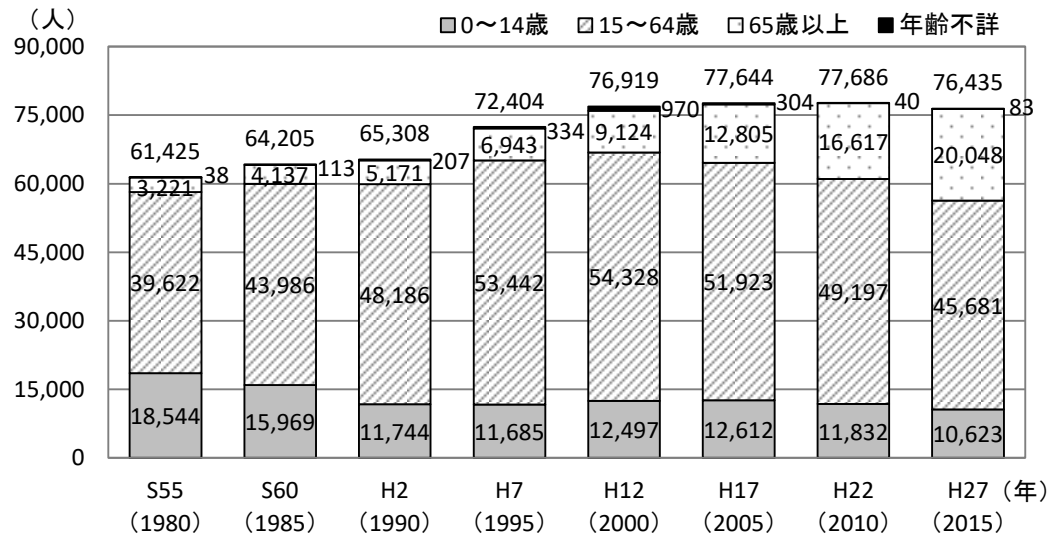
1. 交野市の現況

人口動態

人口減少は進行し、少子高齢化も進行している

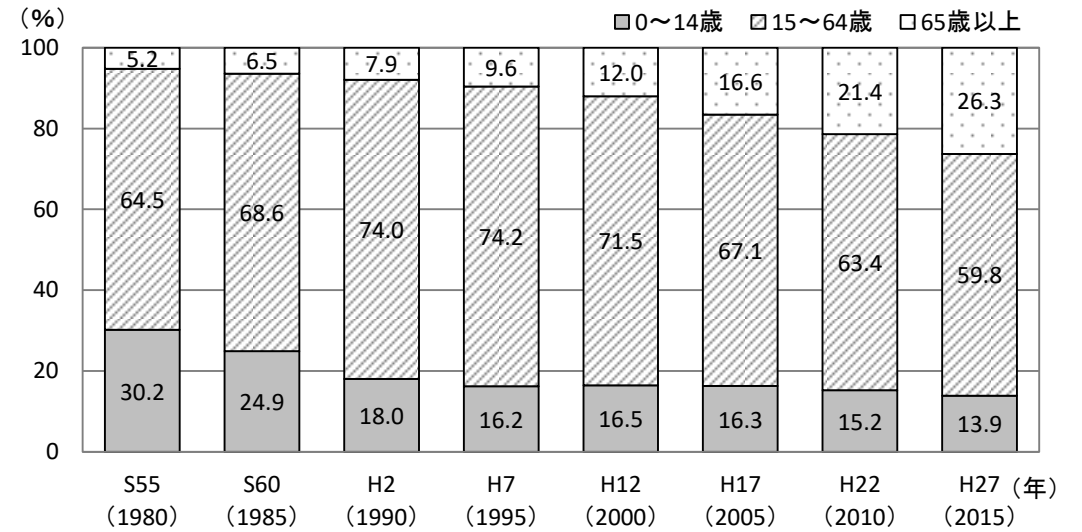
- ・ H22年の77,686人をピークに、H27年以降は人口が減少
- ・ H27年人口構成比は、0～14歳が13.9%、65歳以上が26.3%

年齢区分別人口の推移



資料:各年国勢調査

年齢区分別人口構成比の推移

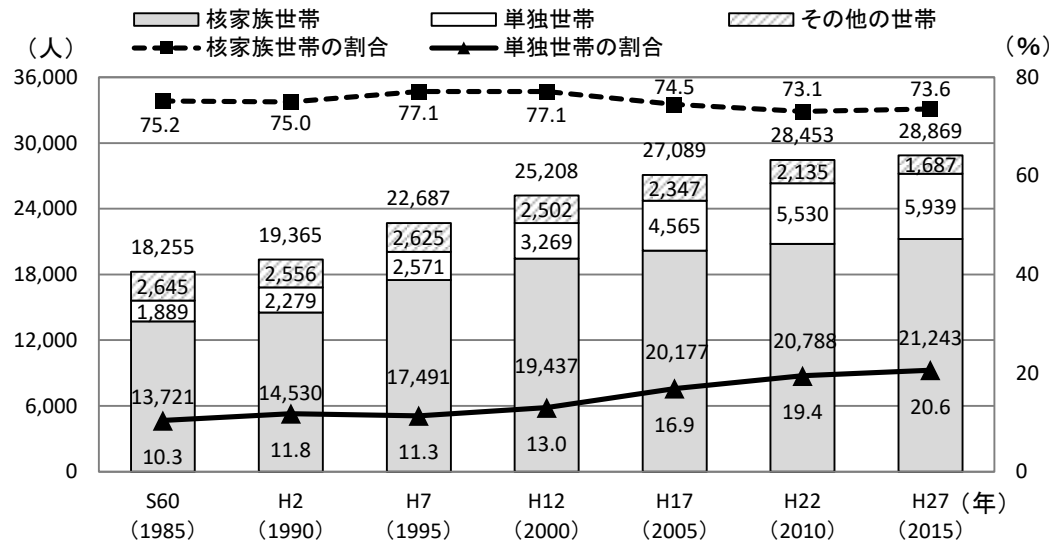


資料:各年国勢調査

65歳以上の単独世帯が増加

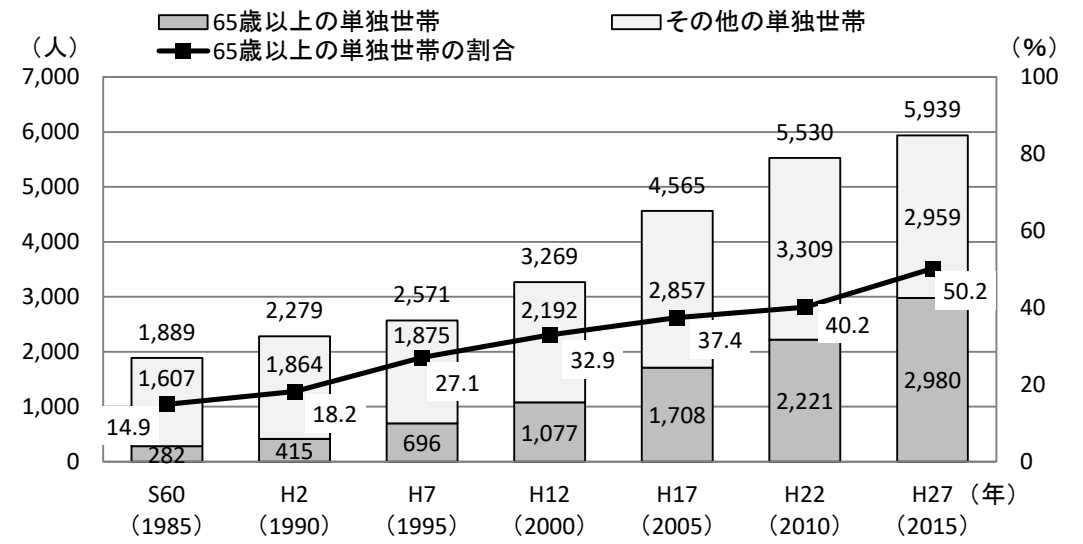
- ・ 核家族の割合は横ばいで、単独世帯数の割合は増加傾向
- ・ 単独世帯5,939世帯のうち、65歳以上は2,980世帯（50.2%）

核家族・単独世帯数の推移



資料: 各年国勢調査

65歳以上の単独世帯数の推移

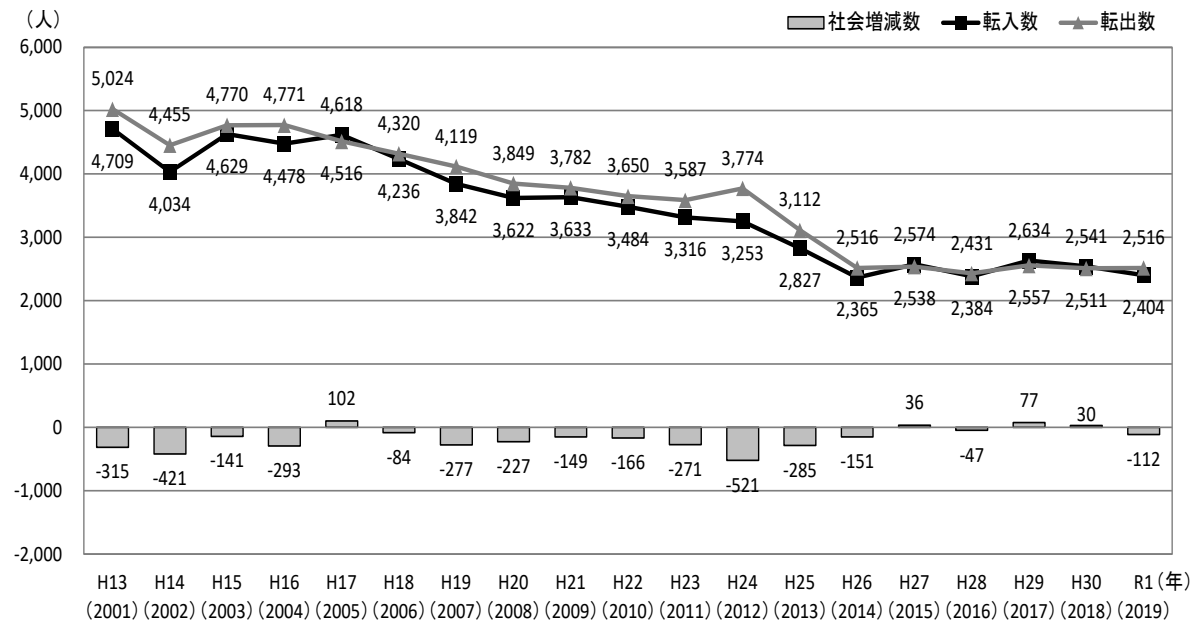


資料: 各年国勢調査

社会動態は均衡し、枚方市からの転入者が多い

- 近年は社会動態の増減数は均衡する中で、近隣の枚方市や寝屋川市からの転入者が多い。

社会増減の推移



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

転入・転出者数

市名	転入者数	転出者数	差
枚方市	1,846	1,481	365
寝屋川市	784	562	222
大阪市	752	658	94
四條畷市	224	155	69
大東市	223	146	77

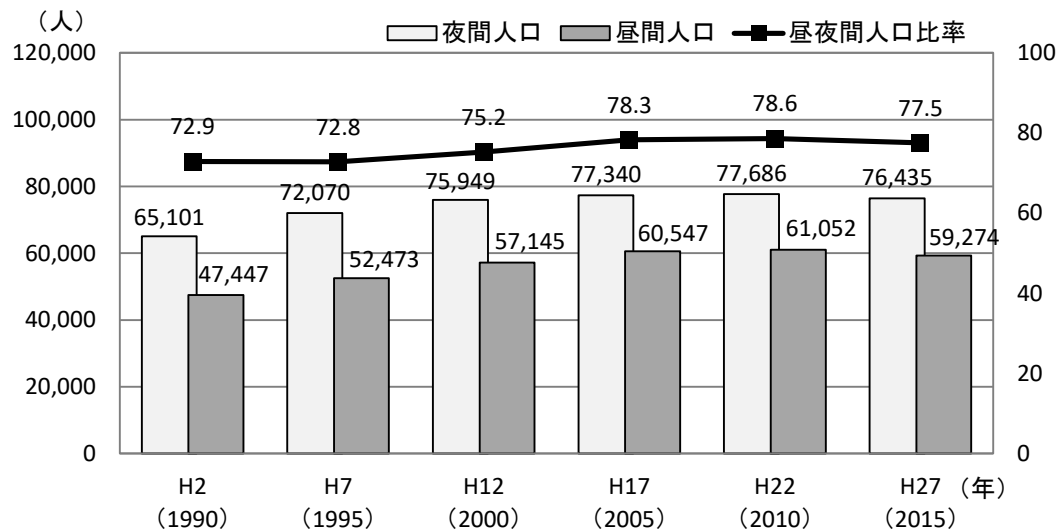
資料：H27年国勢調査

暮らし

昼夜間人口比率が低く、大阪のベットタウン

- ・ 昼夜間人口比率は77.5%（昼間人口は59,274人）
- ・ 大阪市へ約7,000人の流出超過（流出7,782人、流入792人）

昼夜間人口（昼間・夜間）の推移



資料：各年国勢調査

流入・流出先別の人口

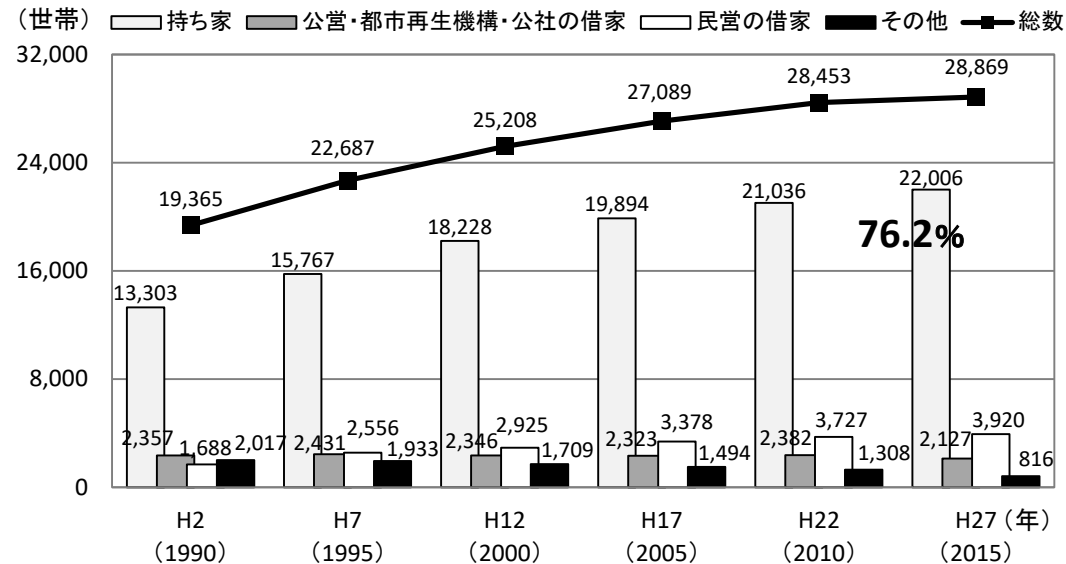
流入元・流出先	流入			流出			流入-流出
	就業者	通学者	流入人口	就業者	通学者	流出人口	超過数
大阪市	495	297	792	7,062	720	7,782	-6,990
枚方市	3,434	455	3,889	5,482	959	6,441	-2,552
寝屋川市	1,056	155	1,211	2,004	325	2,329	-1,118
門真市	187	41	228	1,147	9	1,156	-928
東大阪市	178	64	242	772	135	907	-665
大東市	268	178	446	834	258	1,092	-646
守口市	122	33	155	529	107	636	-481
四條畷市	296	93	389	521	209	730	-341
府内その他の市町村	541	266	807	1,630	389	2,019	-1,212
京都府	651	96	747	1,617	564	2,181	-1,434
その他の都道府県	485	293	778	1,264	309	1,573	-795
従業・通学市区町村「不詳・外国」	-	-	-	189	22	211	-
計	7,713	1,971	9,684	23,051	4,006	27,057	-17,162

資料：H27年国勢調査

持ち家・戸建ての戸数・割合が高く、増加

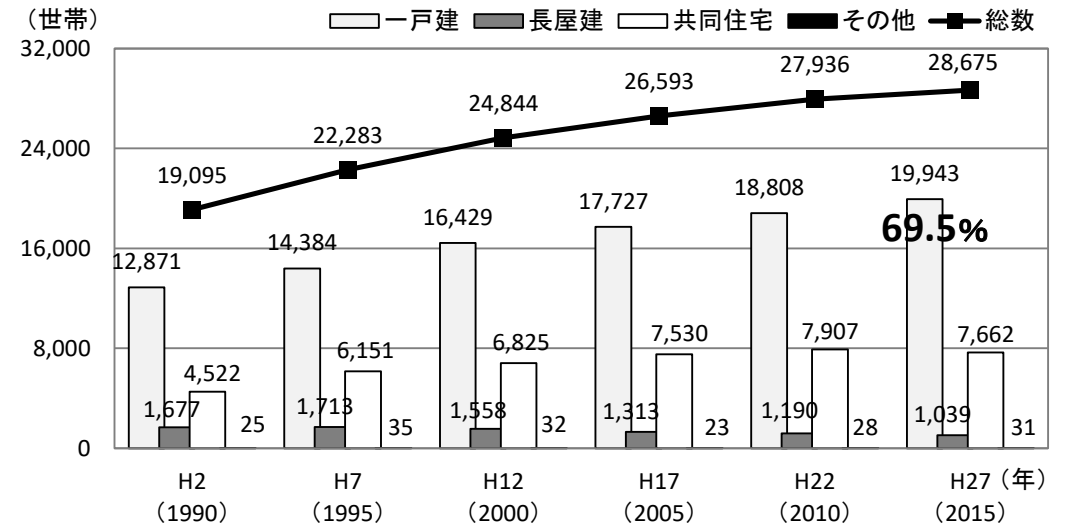
- ・ 持ち家率は76.2% (22,006世帯) ※ (平均) 全国62.3% 府56.3%
- ・ 戸建て率は69.5% (19,943世帯) ※ (平均) 全国55.2% 府41.6%

世帯別の持ち家・借家等の推移



資料: 各年国勢調査

住宅の建て方別世帯数の推移

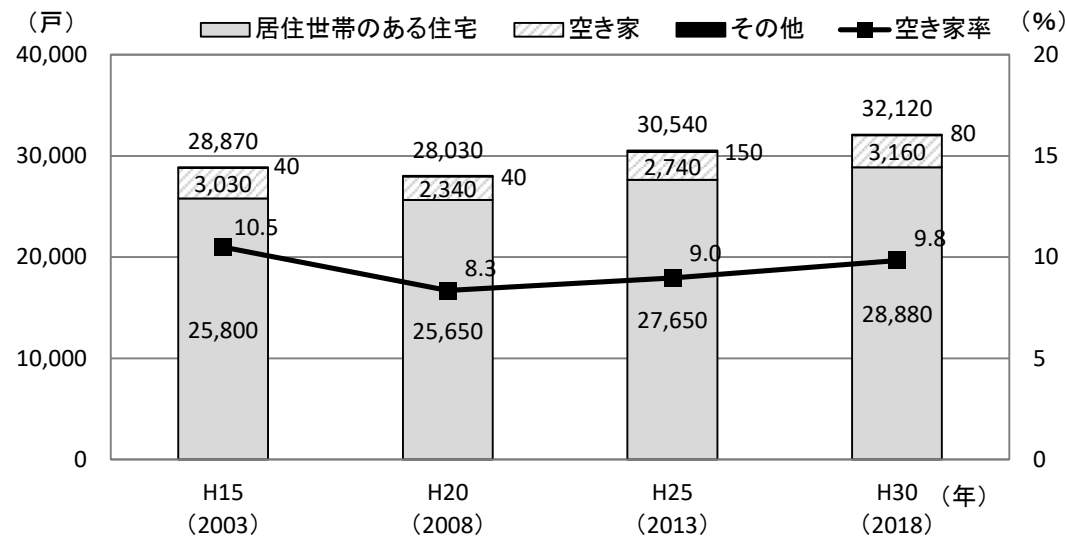


資料: 各年国勢調査

空き家率は低いが、増加傾向である

- ・ 空き家数は3,160戸、空き家率は9.8%である。
- ・ 近隣市等と比較すると空き家率は低い。

空き家率の推移



資料：住宅・都市統計調査

近隣市との比較

空き家率		
1	門真市	17.40
2	守口市	16.90
3	寝屋川市	14.70
4	大東市	14.50
5	四條畷市	14.30
6	交野市	9.80

〈参考〉

全国13.6%

大阪府15.2%

資料：H30年住宅・土地統計調査

主な交通手段は自動車

- ・ 主な交通手段は「自家用車のみ」が多い
- ・ 自動車保有台数は近隣市で最も多く、H22年から横ばい

主な交通手段

【普段の生活】	
①自家用車のみ	46.7%
②自転車のみ	16.7%
③徒歩のみ	15.2%

【買い物】	
①自家用車のみ	59.1%
②鉄道	12.6%
③自転車のみ	6.8%

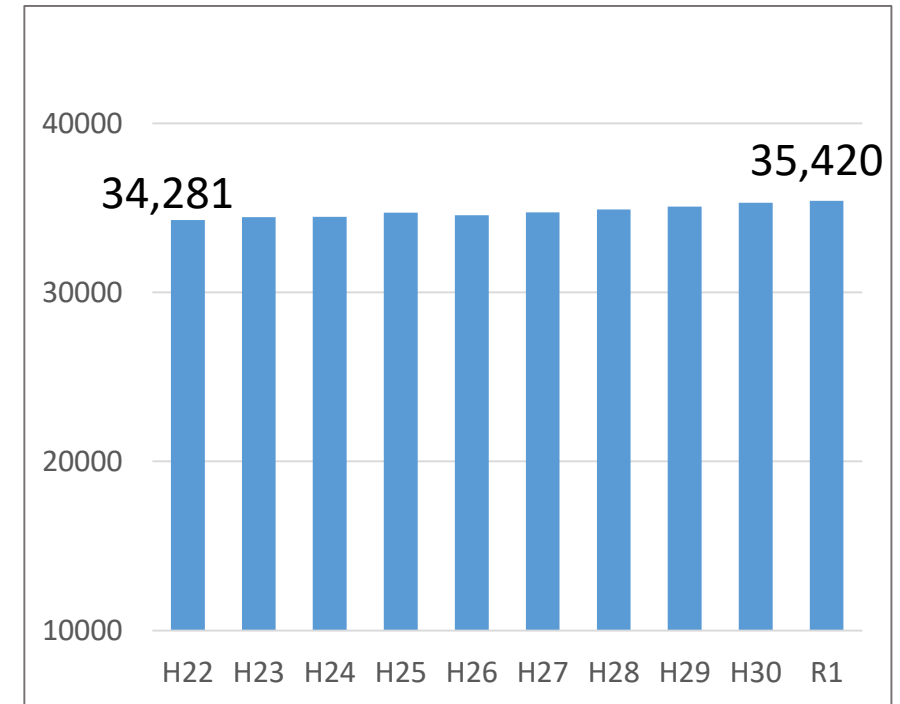
資料: 交野市市民意識調査

1世帯あたり自動車保有台数

自動車保有台数 (1世帯当たり) (台)	
1 交野市	1.40
2 京田辺市	1.33
3 八幡市	1.30
4 城陽市	1.12
5 生駒市	1.12
6 四條畷市	1.03
7 大東市	0.94
8 枚方市	0.92
9 門真市	0.88
10 寝屋川市	0.85
11 守口市	0.66

資料: 近畿都市統計要覧

自動車保有車両数の推移

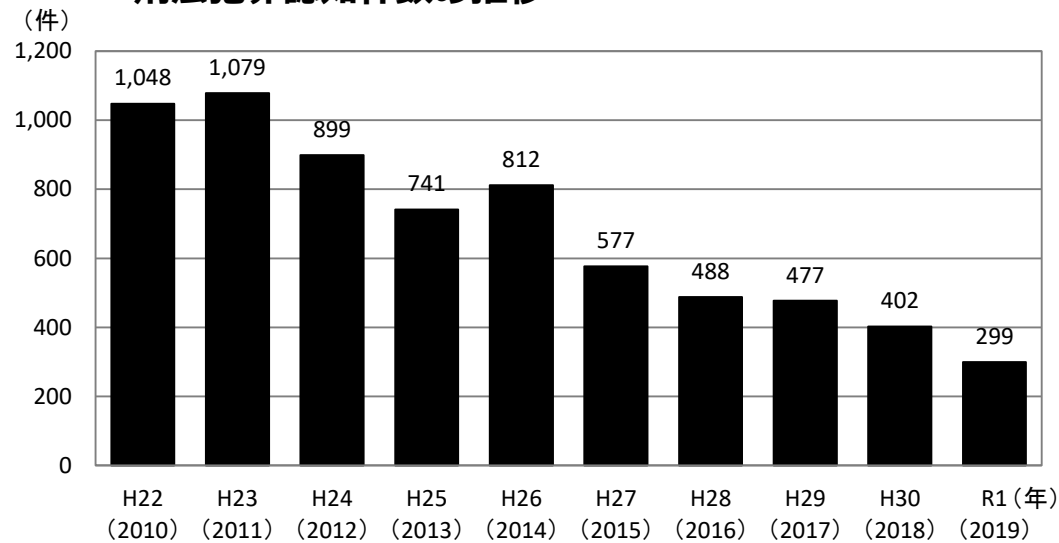


資料: 大阪府統計年鑑

刑法犯罪認知件数が低い

- ・ 認知件数は年々減少（約1000件 → 約300件）している。
- ・ 近隣市と比較し「治安がよいまち」と言える。

刑法犯罪認知件数の推移



資料:大阪府統計年鑑

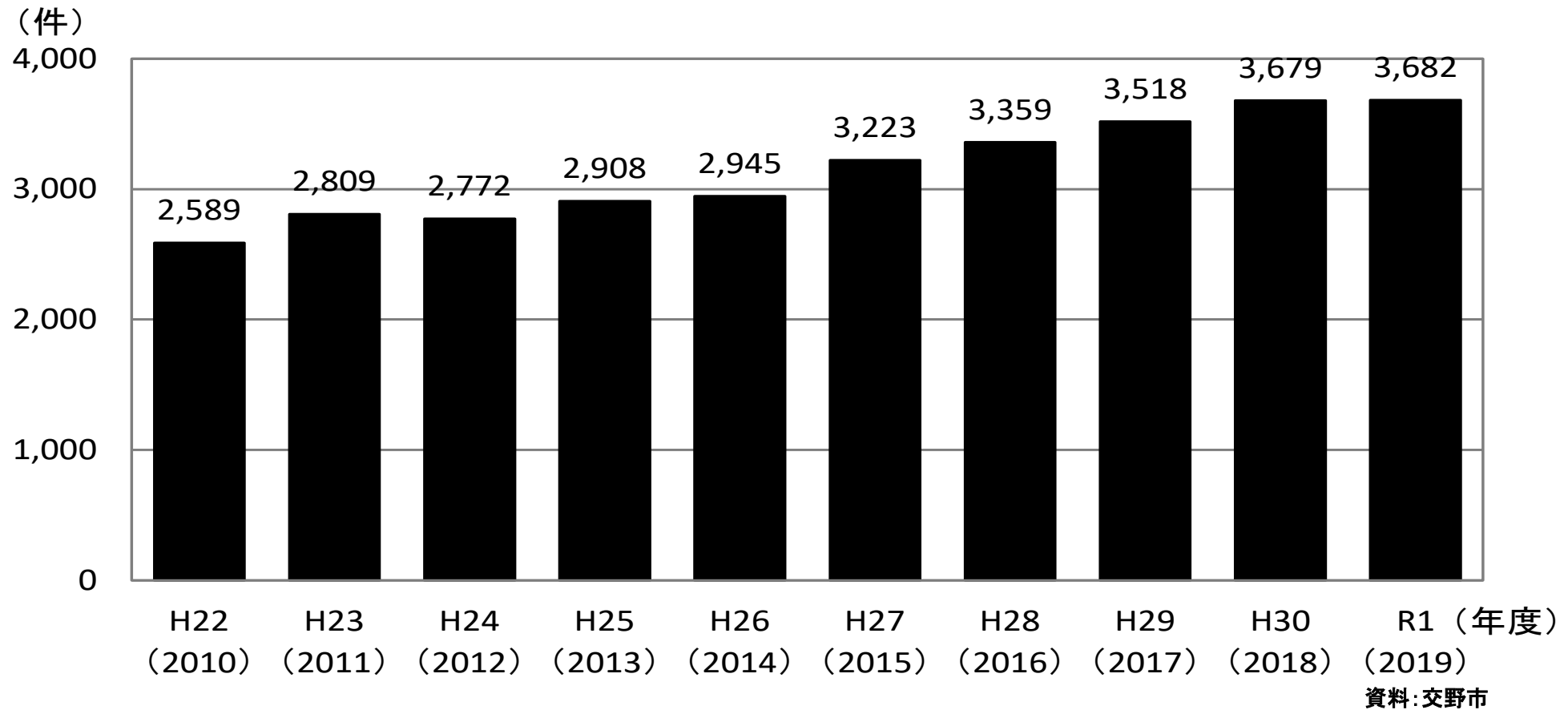
近隣市との比較

刑法犯罪認知件数 (市民1万人当たり)(件)	
1	生駒市 31.30
2	城陽市 41.95
3	交野市 44.70
4	八幡市 48.19
5	枚方市 48.44
6	京田辺市 61.05
7	四條畷市 72.50
8	寝屋川市 76.05
9	守口市 85.35
10	大東市 96.11
11	門真市 109.40

資料:大阪府統計年鑑、近畿都市統計要覧等

救急出動件数の増加

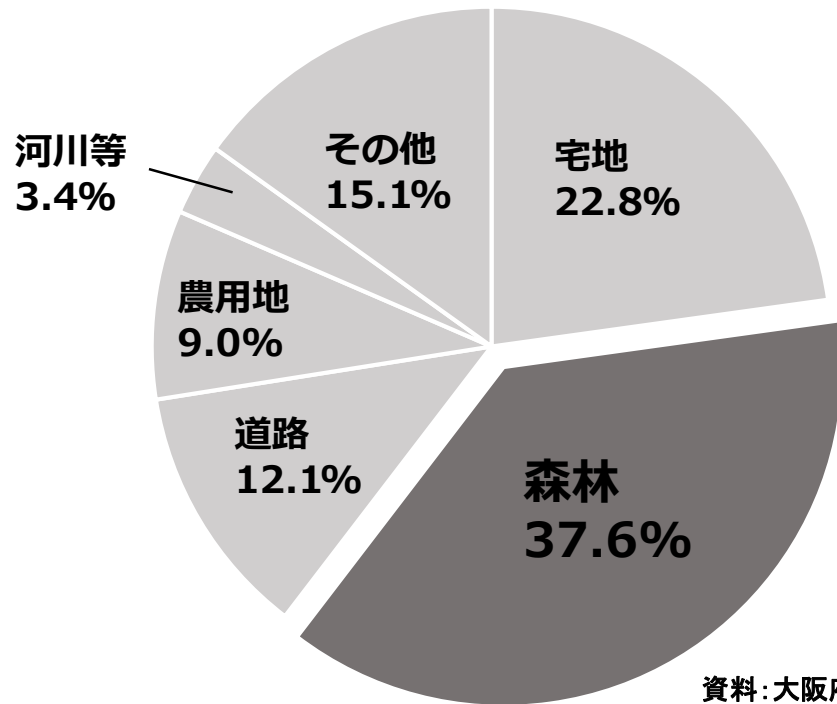
- ・ H22年～R1年で、救急出動件数は約1.4倍



市域に占める森林面積が高く自然に恵まれている

- ・ 土地利用区分面積では、森林が最も多い
- ・ 都市計画区域のうち、市街化調整区域は半分以上である

土地利用区分面積



資料:大阪府統計年鑑

都市計画区域の内訳

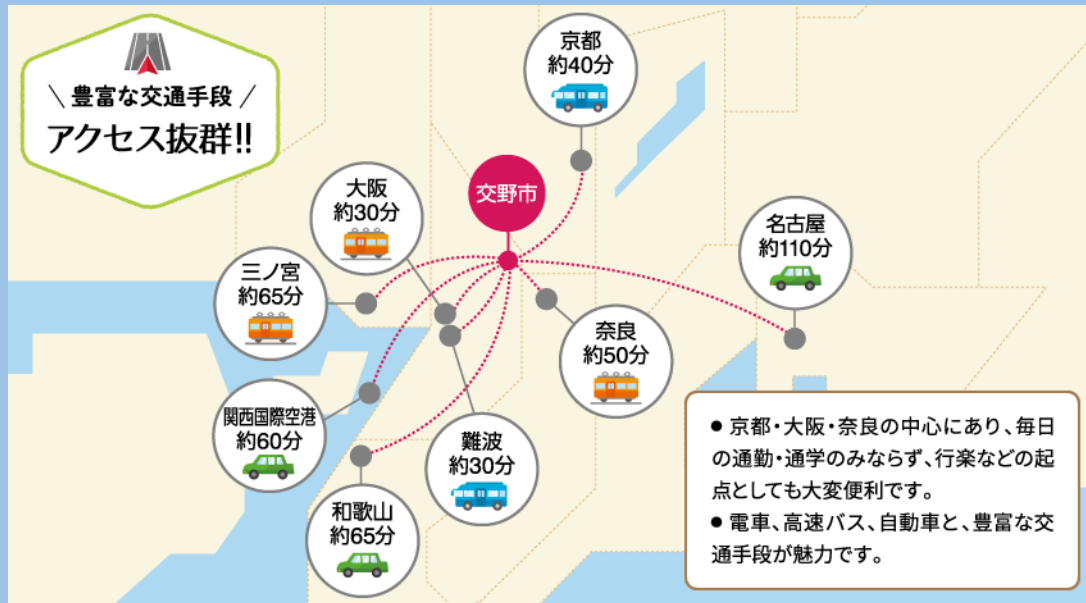
	実数	割合
市街化区域	967ha	37.8%
市街化調整区域	1,588ha	62.2%
都市計画面積	2,555ha	100.0%

資料:交野市

大都市へのアクセスが便利

自動車で

第二京阪道路により利便性向上

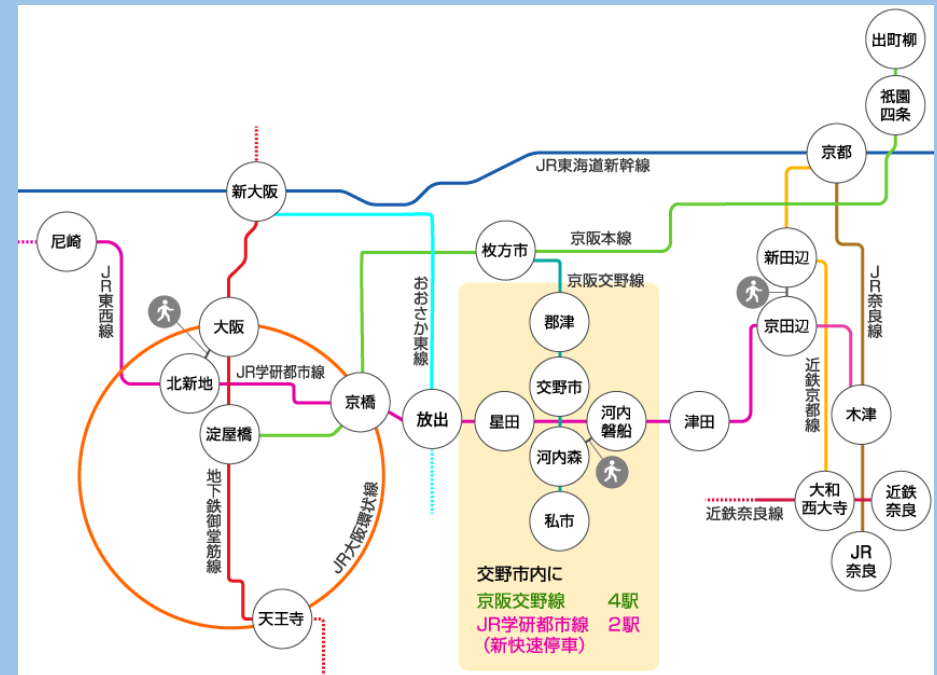


大阪市内まで約25分

京都市内まで約20分

鉄道で

市内に京阪4駅、JR2駅



大阪市内まで約30分

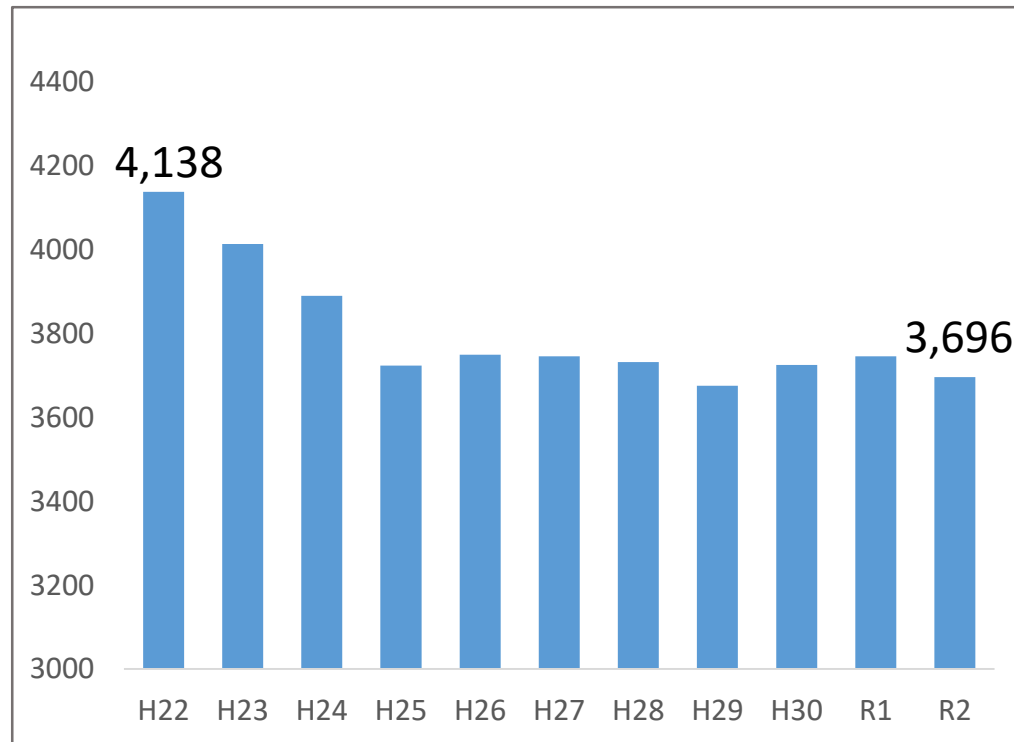
京都市内まで約40分

子ども・福祉

未就学児童の減少と保育需要の増加

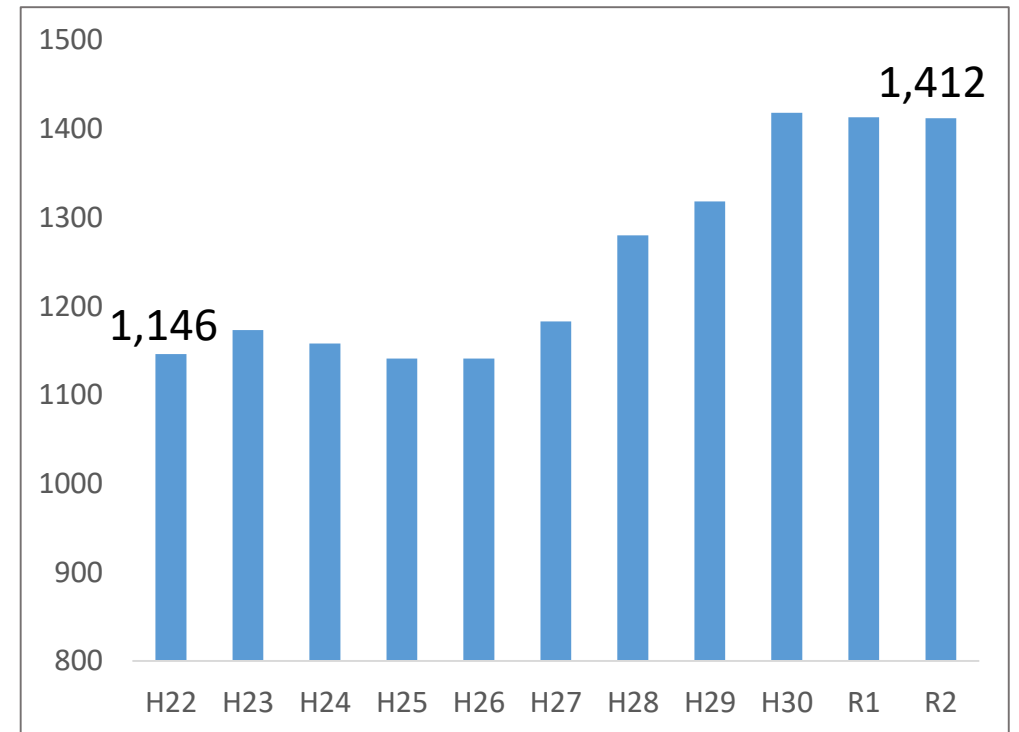
- 未就学児童数は減少する一方、保育を必要とする児童数は増加（約1.2倍）している。

未就学児童数（0～6歳）の推移



資料: 交野市

保育児童数の推移

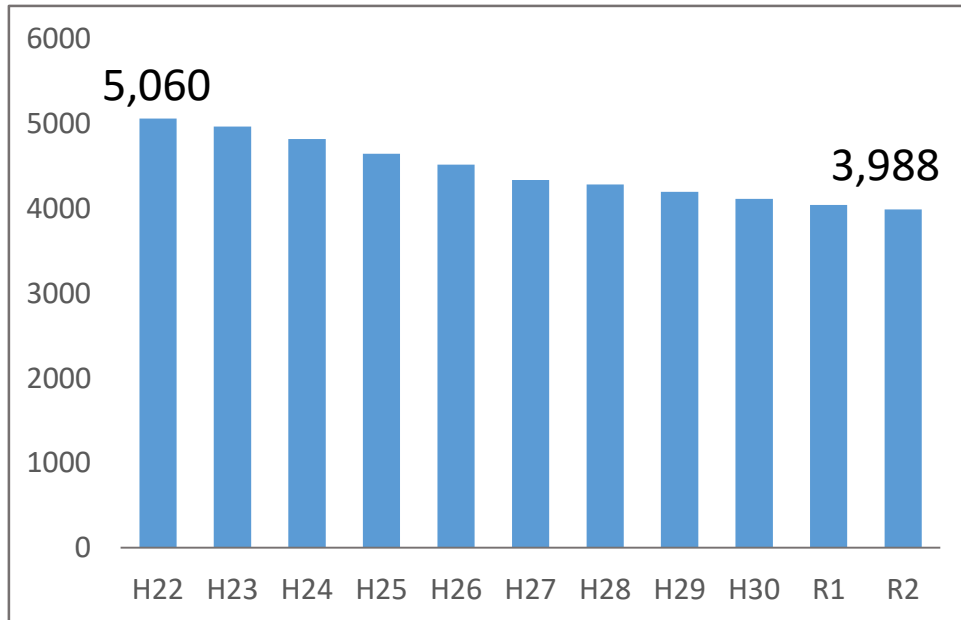


資料: 交野市

小学生・中学生の児童・生徒数は減少

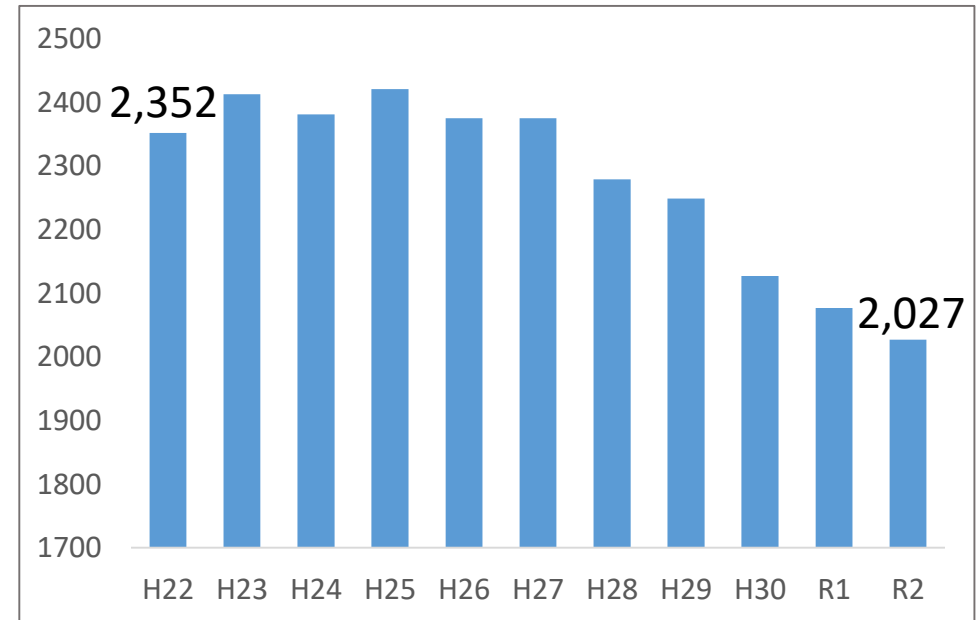
- ・ H22年～R2年で、
小学生は約1,000人、中学生は約300人減少している。

小学生（児童数）の推移



資料:交野市

中学生（生徒数）の推移



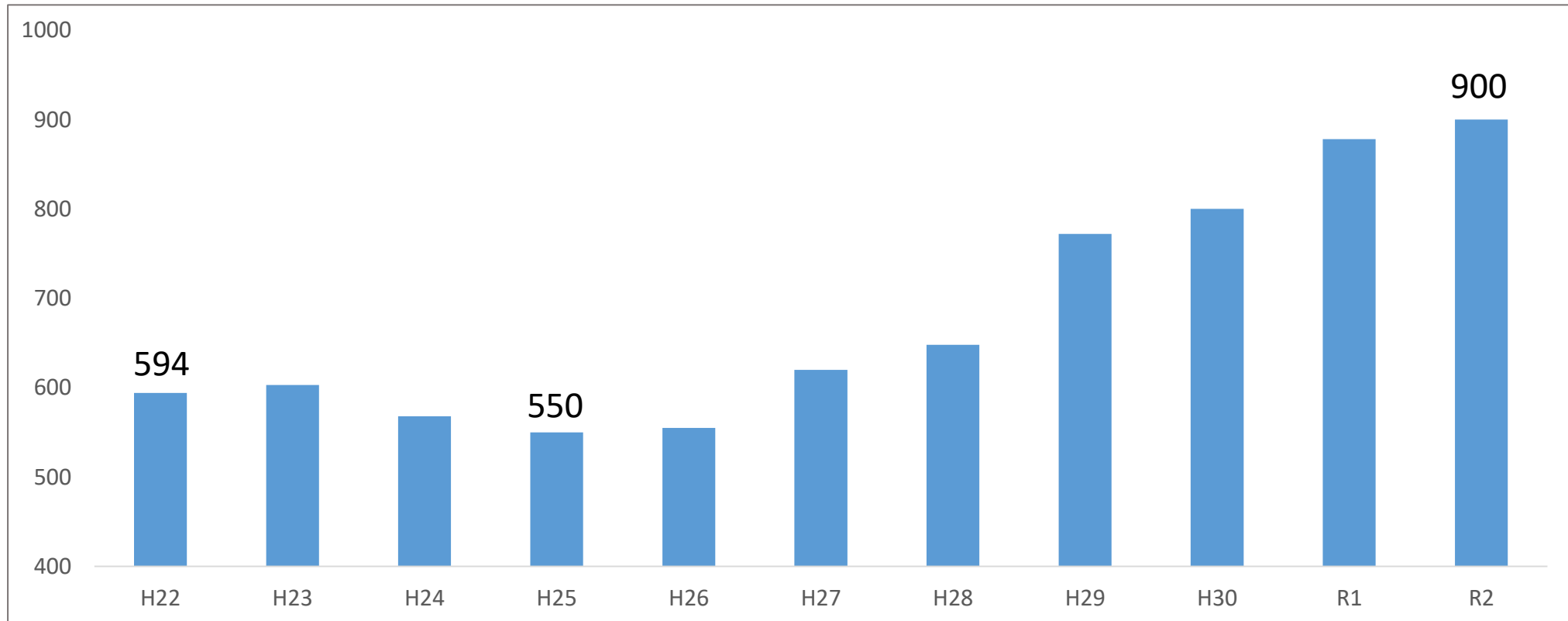
資料:交野市

放課後児童会を利用する児童の増加

- ・ 放課後児童会の利用児童数は約1.5倍増加している。

放課後児童会利用者数の推移

単位:人

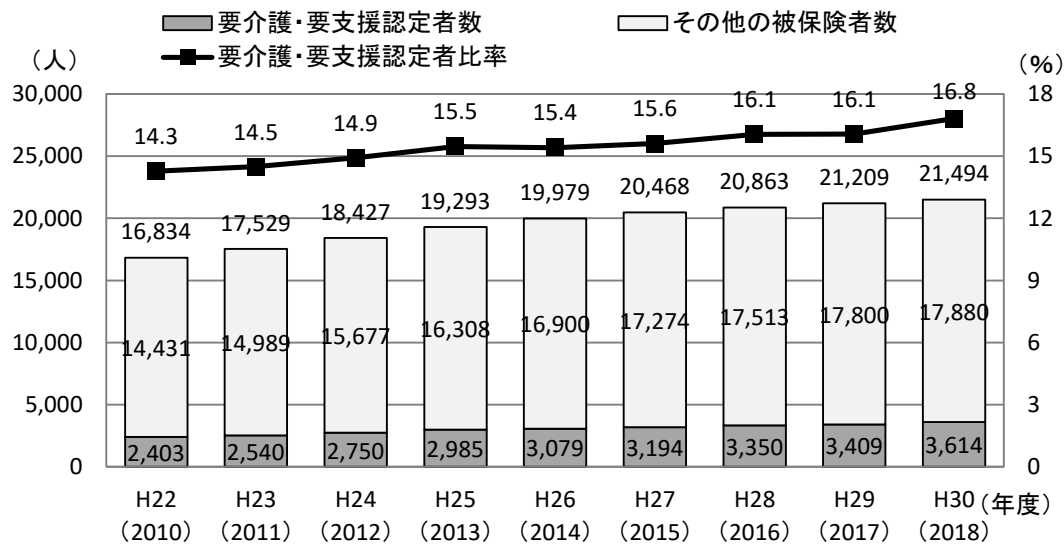


資料:交野市

要介護・要支援の増加と介護給付費の増大

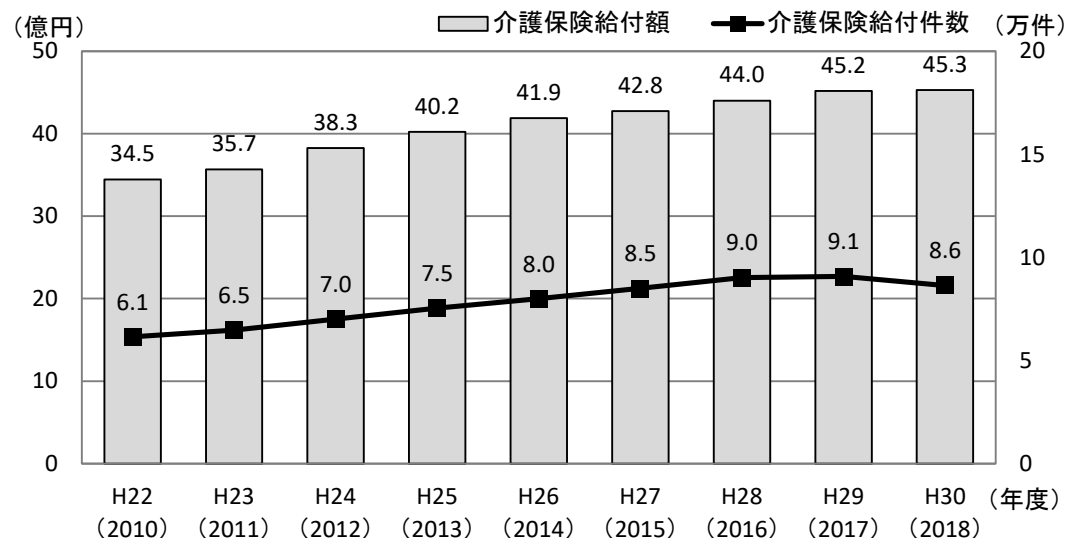
- 要介護・要支援認定比率は増加傾向にある
- 介護保険給付額の増大している

要介護・要支援認定者比率の推移



資料: 交野市

介護保険給付件数と給付額の推移

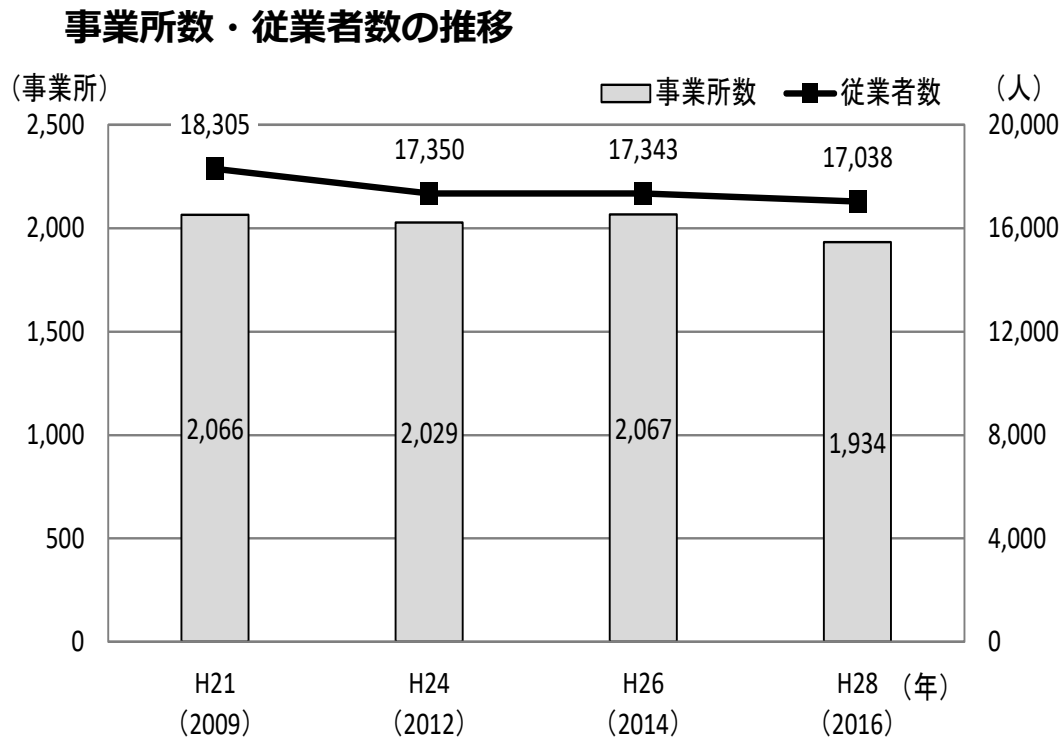


資料: 交野市

産業・観光

事業所数、従業者数は横ばい

- 産業分類では、事業所数は小売業が最も多い。



資料: 各年経済センサス

事業所数・従業者数 (産業分類別)

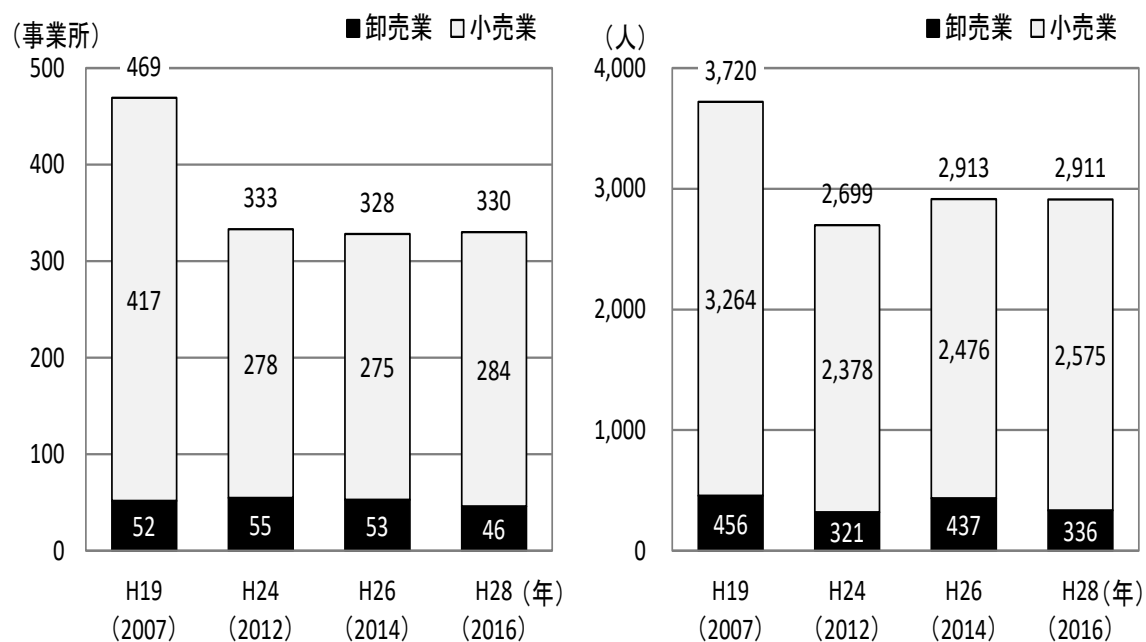
	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)
全産業(公務を除く)	1,934	100.0	17,038	100.0
農林漁業	3	0.2	15	0.1
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0.0	0	0.0
建設業	199	10.3	1,078	6.3
製造業	180	9.3	3,206	18.8
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.1	10	0.1
情報通信業	14	0.7	20	0.1
運輸業, 郵便業	39	2.0	707	4.1
卸売業, 小売業	423	21.9	3,512	20.6
金融業, 保険業	24	1.2	280	1.6
不動産業, 物品賃貸業	117	6.0	343	2.0
学術研究, 専門・技術サービス業	88	4.6	342	2.0
宿泊業, 飲食サービス業	192	9.9	1,151	6.8
生活関連サービス業, 娯楽業	180	9.3	871	5.1
教育, 学習支援業	128	6.6	896	5.3
医療, 福祉	236	12.2	3,725	21.9
複合サービス事業	11	0.6	231	1.4
サービス業(他に分類されないもの)	98	5.1	651	3.8

資料: H28年経済センサス

小売業の事業所数、売り場面積は減少

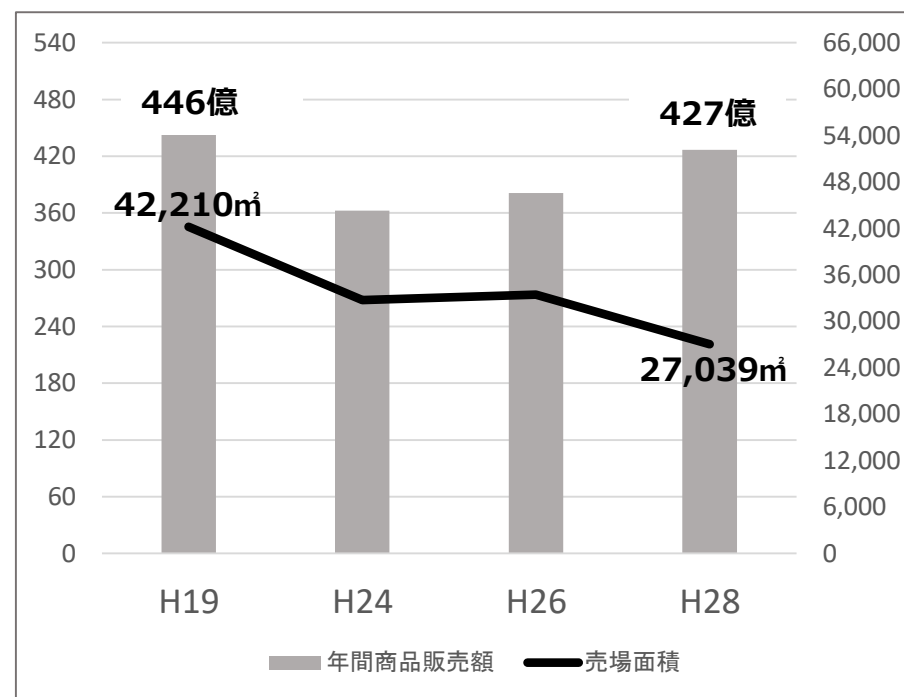
- ・ 小売業の事業所数は約130事業所が減少し、売り場面積は約15,000m²減少している。

小売業の事業所数・従業者数の推移



資料：商業統計調査、各年経済センサス

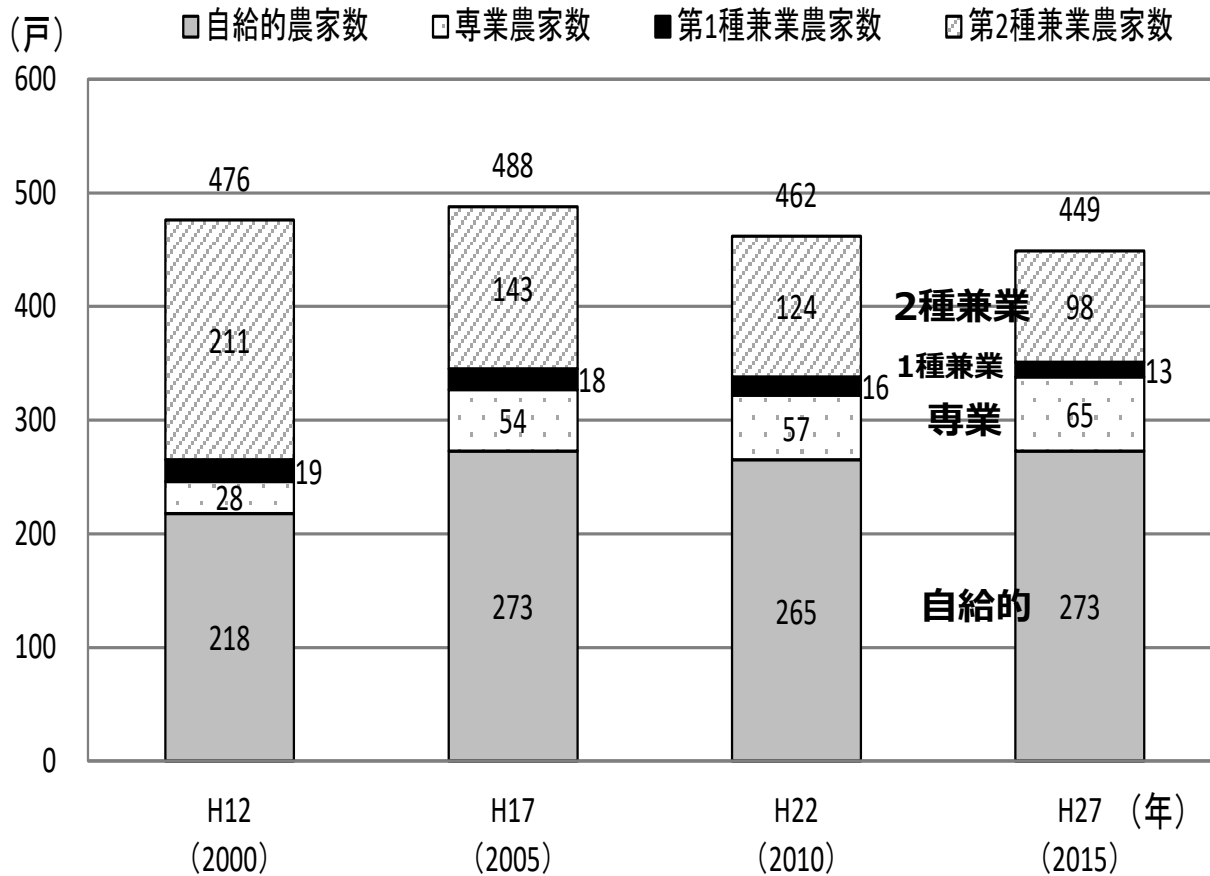
小売業の年間商品販売額と・売り場面積



資料：商業統計調査、各年経済センサス

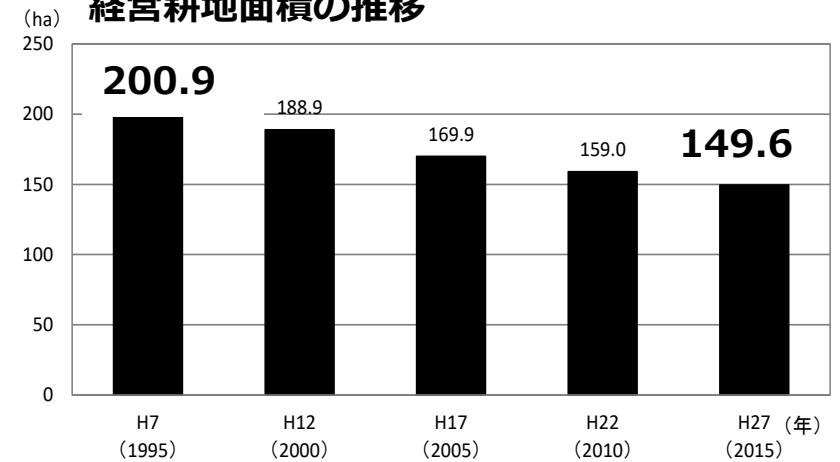
農家数と経営耕作地は減少し、耕作放棄地は増加

農家数の推移

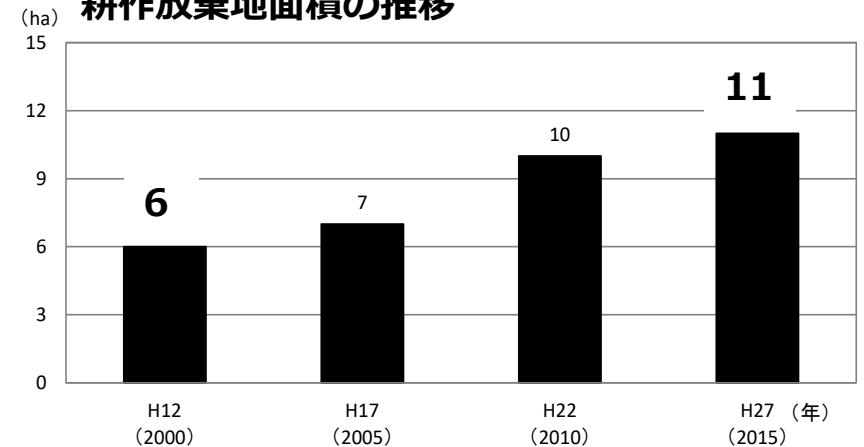


資料:大阪府統計年鑑

経営耕地面積の推移



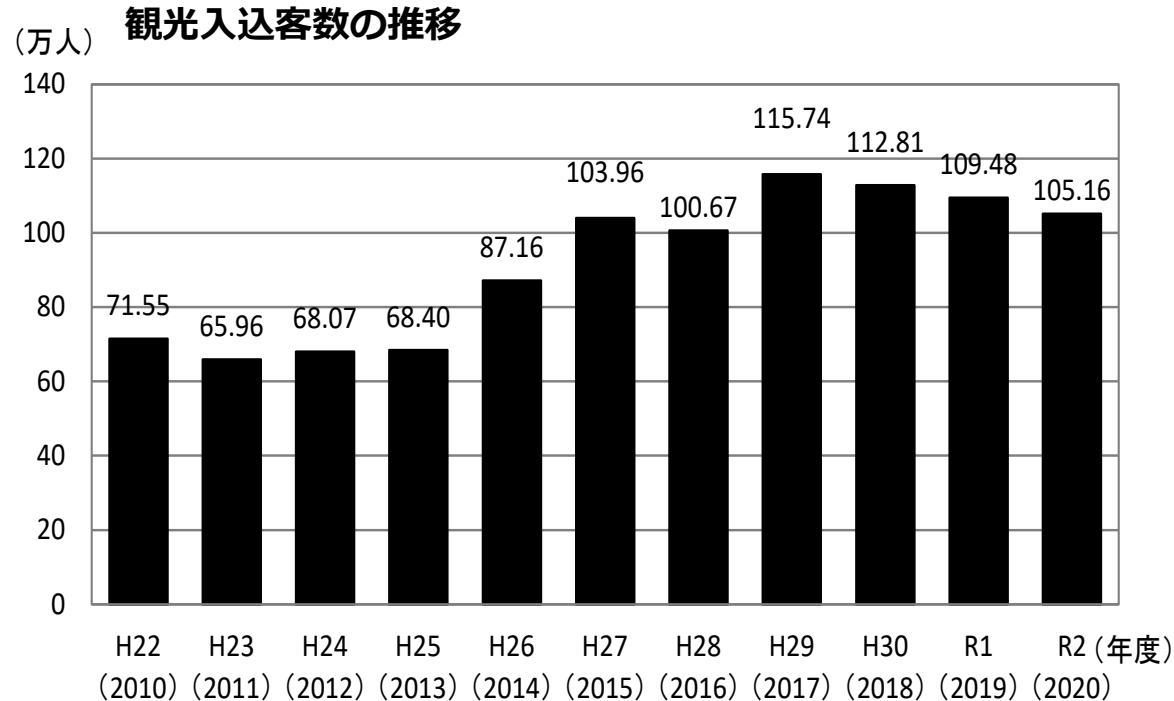
耕作放棄地面積の推移



資料:大阪府統計年鑑

観光で年100万人以上が来訪

- ・ 約70万人で推移していた観光客数が、近年では100万人以上で推移している



資料: 交野市

令和2年度の来訪者 約105万人
うち約9割が府民の森に訪れる
府民の森 ほしだ園地 約88万人
くろんど池園地 約7万人

まちの活性化への可能性

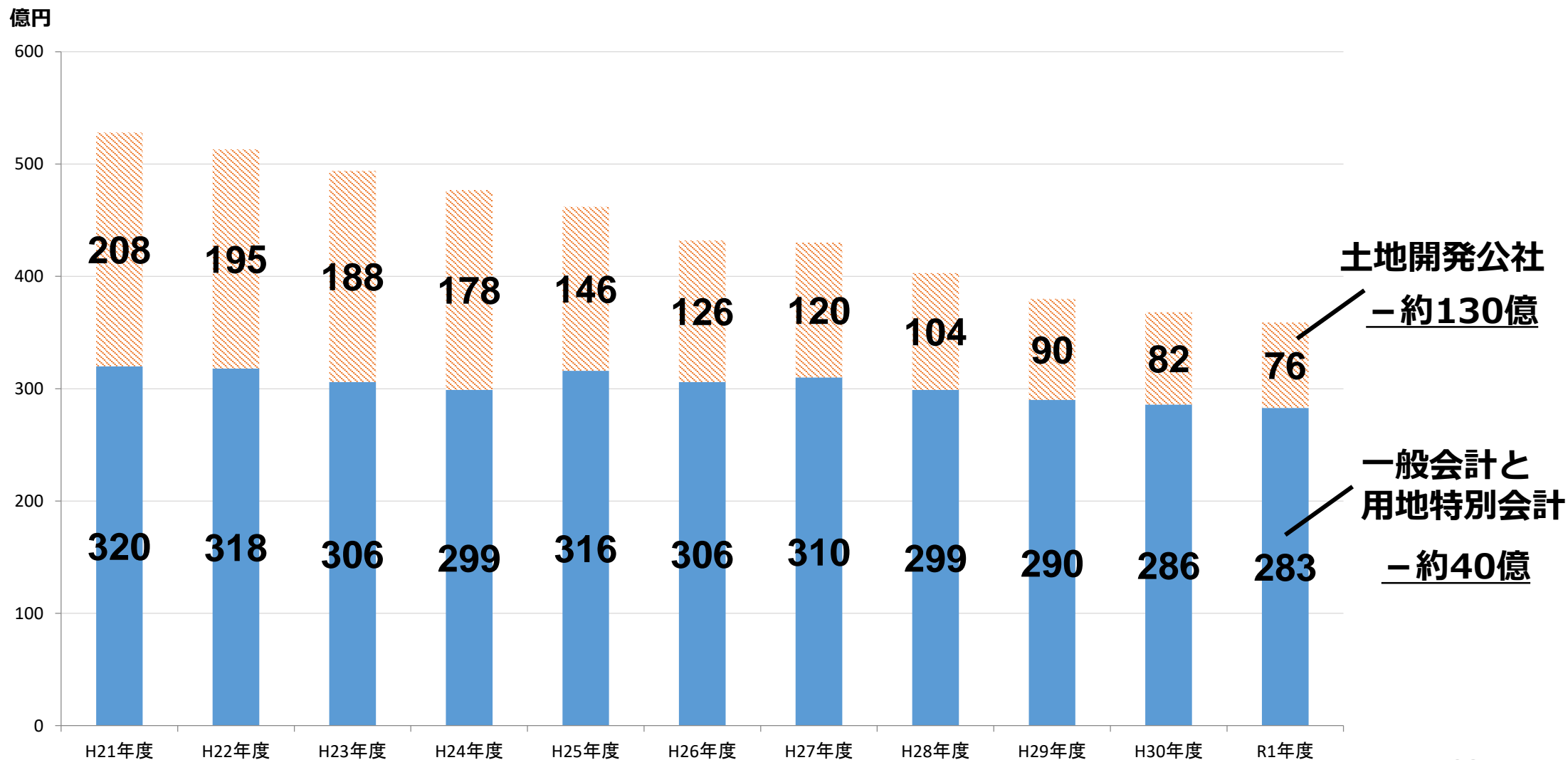
今後、淀川左岸線延伸部整備により、第二京阪道路による本市への人流・物流がより促進されることが期待できる。



資料: 国土交通省 近畿地方整備局浪速国道事務所

行政運営

市が抱える負債が多い



実質公債費比率・将来負担比率が大きい

- 負債返済による実質公債費比率が他市と比較しても大きく、また将来負担比率も高い。

実質公債比率の他市比較

単位：%

1	枚方市	-0.8
2	寝屋川市	0.4
3	京田辺市	1.6
4	八幡市	1.9
5	門真市	4.5
6	生駒市	4.6
7	四條畷市	5.6
8	大東市	6.2
9	守口市	6.8
10	城陽市	9.1
11	交野市	9.4

〈参考〉

交野市令和元年度の公債費
約29億（11.7%）

資料：令和元年度市町村決算カード

将来負担比率の他市比較

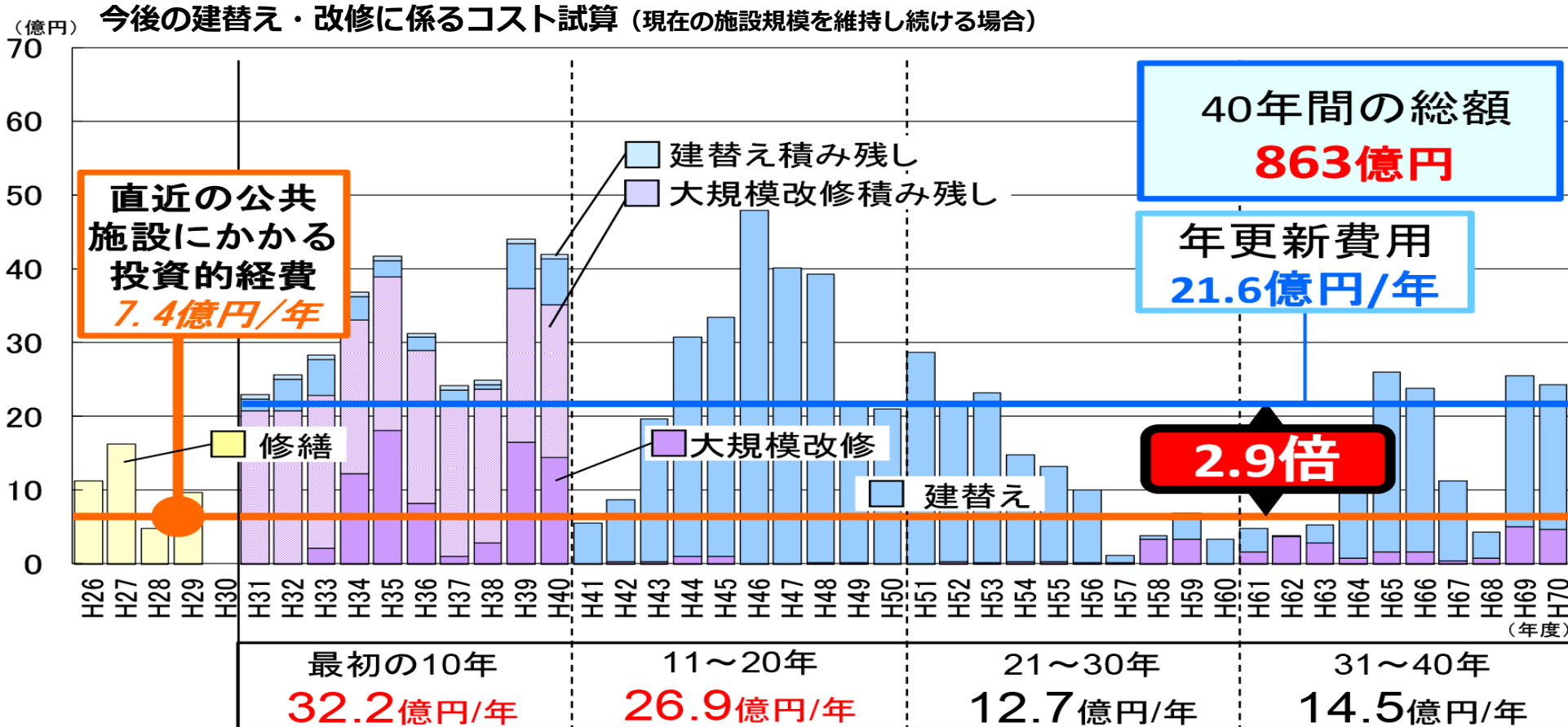
単位：%

1	寝屋川市	-
2	枚方市	-
3	大東市	-
4	四條畷市	-
5	生駒市	-
6	八幡市	-
7	京田辺市	-
8	門真市	39.0
9	守口市	50.9
10	交野市	86.7
11	城陽市	107.2

資料：令和元年度市町村決算カード

公共施設の改修・建替えで多くの費用が必要

- 公共施設の改修・建替費用で多くの費用が必要となる。



資料: 交野市

2. 交野市の強み・弱み

交野市の強み

- ・ 人口減少が穏やか
- ・ 1世帯あたりの人員数が多い
- ・ 定住意識をもって暮らしている
- ・ 自然環境に恵まれている
- ・ 良好な住環境がある
- ・ 火災発生件数が少ない
- ・ 自治会加入率が高い

交野市の弱み

- ・ 自動車交通への依存が高い
- ・ 交通事故件数が多い
- ・ 産業集積が低い
- ・ 市内で働く場所が少ない
- ・ 市が抱える負債が多い
(実質公債比率・将来負担率が高い)
- ・ 公共施設の改修・建替費用が必要